

小濱 妙美

ソプラノリサイタル

TAEMI KOHAMA SOPRANO RECITAL

ピアノ：關口 康祐

Leben!
～生きる!～

Akt 1 R. シュトラウス RICHARD STRAUSS

憩え、我が魂
解き放たれた心
明日
子守歌
悪いお天気

Ruhe meine Seele
Befreit
Morgen
Wiegenlied
Schlechtes Wetter

Akt 2 R. シュトラウス RICHARD STRAUSS

「4つの最後の歌」
春
9月
眠りにつこうとして
夕映えの中で

Vier Letzte Lieder
Frühling
September
Beim Schlafengehen
Im Abendrot

Akt 3 R. ヴァーグナー RICHARD WAGNER

楽劇『タンホイザー』より エリーザベトのアリア
Arie der Elisabeth aus Tannhäuser

歌の殿堂
エリーザベトの祈り

Dich, teure Halle
Gebet der Elisabeth

楽劇『ヴァルキューレ』より ジークリンデのアリア
Arie der Sieglinde aus Walküre

貴方こそは春です!

Du bist der Lenz

2022.11.28.mon

18:15 open / 19:00 start

京都コンサートホール 小ホール
〈アンサンブルホールムラタ〉

一般 5,000円 / 学生 4,000円

チケットぴあでの購入
右記QRコード、もしくはPコード: 227-368 にて



京都コンサートホール チケットカウンター TEL. 075-711-3231
(窓口・電話とも10:00~17:00 / 第1・3月曜日 ※休日の場合は翌平日、年末年始休館)

ロームシアター京都 チケットカウンター TEL. 075-746-3201
(窓口・電話とも10:00~19:00 / 年中無休 ※臨時休館日等を除く)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり

オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

お問い合わせ es.escargot@gmail.com 主催 スタジオエスカルゴ

東京藝術大学卒業、同大学院修了。中村義春、畑中良輔、小野光子各氏に師事。エリーザベト・シュヴァルツコプフ女史に才能を認められ、1984年よりスイスに留学。ミラノではアントニオ・トニーニ氏にイタリアオペラを学ぶ。バヴァロッティ・コンクール、チャイコフスキー・コンクール、村松賞、ジローオペラ賞、よんでん芸術文化奨励賞、ロシア歌曲賞など多数受賞。93年ドイツ・ニーダーザクセン州立ブラウンシュヴァイク劇場と専属契約を交し、「タンホイザー」のエリーザベト役でヨーロッパデビュー。劇場始まって以来の大家歌手誕生と絶賛される。同劇場のほか、欧米各地の歌劇場やコンサート、音楽祭で活躍。日本では、90年「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナ役でオペラ・デビュー。「蝶々夫人」「ノルマ」のタイトルロール、「カルメン」のミカエラ、サントリーホール「マクベス」「ナブッコ」、ヴェルディ「レクイエム」や「ガラ・コンサート」等に出演。97年新国立劇場開場記念公演「ローエングリン」にはエルザ役で出演。98年12月カーネギーホール「第九交響曲」、パリ・オペラ座バレエ団ベジャール振付「第九交響曲」やベルゲン・フィルなどと共演。新国立劇場では「蝶々夫人」のタイトルロール、「エウゲニ・オネーギン」のタチヤーナ、「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナ、「トスカ」のタイトルロール、びわ湖ホールでは「ジャンヌ・ダルク」のタイトルロール、「エルナーニ」のエルヴィラ、また日本オペラ「黒塚」などに出演。2003年1月新国立劇場「光」のホアン役、3月「ノルマ」のタイトルロール、7月新国立劇場にて「トスカ」、8月文化庁公演「蝶々夫人」、11月びわ湖ホールにて「シチリアの夕べの祈り」など出演。2004年1月藤原ニューイヤーオペラ「椿姫」、9月モルドヴァでは「トスカ」で大成功をおさめる。10月びわ湖ホール「十字軍のロンバルディア人」、11月メキシコにて世界的テノールのアライサ氏と「ルチア」「蝶々夫人」初共演、またリサイタルでも絶賛された。2005年1月第48回NHKニューイヤー・オペラコンサートに初出演。2005年秋、恒例となったびわ湖ホールオペラ「スティッフエリオ」リーナ役を歌う。2006年5月、ニューヨーク・カーネギーホールのリサイタルでは、STANDING OVATIONと鳴り止まぬ拍手で大成功をおさめる。2006年秋、藤原歌劇団公演「ランスへの旅」コルテーゼ夫人役でも大好評を博す。2007年から、サロンコンサートやサロンオペラ「蝶々夫人」「椿姫」「トスカ」など新感覚のパフォーマンスに意欲的に挑戦、またテレビやラジオなどでも活躍中。2009年6月には新国立劇場にて『修禪寺物語』（坂田藤十郎演出）かつら役で出演、また10月にも新国立劇場尼崎公演「蝶々夫人」タイトルロール出演。2010年夏、瀬戸内国際芸術祭ではオペラと文楽のコラボレーションで「蝶々夫人」を実現させ、また11月には藤沢オペラ「カヴァレリア・スティカーナ」サントウツァ役に初挑戦、大成功をおさめる。2011年12月9日には京都での初リサイタル、2012年5月には初オペラ「月の影～源氏物語～」藤壺役で大絶賛を博す。2012年11月国民文化祭（徳島県三好市）、12月デュルフレ作曲「レクイエム」ソリスト（定期演奏会）等コンサートでも活躍。2013年7月、ヴェルディイヤーにちなんだサントリーホールでのコンサートで再び大絶賛を博す。9月には、石山寺本堂（国宝）にて「月の影～源氏物語」六条御息所役で出演。2013年11月大友直人指揮、千住明作曲「万葉集」（定期演奏会）大伴皇女で大成功をおさめる。2015年3月、世界が注目する日本オペラ「藤戸」のおんな役を歌い演じ、大成功に導いた。2016年6月19日には「オペラティックガラ・コンサート」にて「カルメン」タイトルロールを歌い演じ、聴衆を魅了した。2017年11月19日には、育樹祭において「君が代」（国歌斉唱）を披露した。2018年6月19日には京都コンサートホール（ムラタ）にてリサイタル、大きな話題を呼んだ。2019年5月にはウラジオストクに招かれ大成功をおさめた。コロナ禍にあっても、2020年オンラインリサイタルに続き、2021年12月14日京都コンサートホールにてのリサイタル（Vivere～生きる！）でも話題を呼び、多くの皆様に癒しと感動、そして生きる勇気を与えた。日本音楽コンクールや、全日本学生音楽コンクール、東京国際声楽コンクールなどの審査員も務める。CD『Eternity～永遠～』、『題名のない音楽会』NHKテレビやFMラジオ出演など多方面にわたり、活躍。2008年より香川名誉大使。現在、京都市立芸術大学教授、藤原歌劇団団員。

Leben!
～生きる!～

小濱 妙美

Taemi Kohama
Soprano Recital
2022



京都コンサートホールへのアクセス

